

築川ダム周辺環境整備検討委員会

第3回 景観形成検討部会議事要旨

日時：平成14年3月19日（火）10：00～
場所：サザンパレスフォルテ（2階会議室）

出席委員

岩手大学教授	安藤 昭 部会長
（社）岩手県建築士会会長	小川 惇 委員
(株)カマタデザインルーム代表取締役	鎌田 昌孝 委員
花設計舎	岸根 八ナ 委員
鷹嘴建築設計事務所代表取締役	鷹嘴 紅子 委員

出席職員

岩手県河川課ダム建設係技師	藤原 慎
築川ダム建設事務所所長	菊池 良治
次長	柏 慶治
工務第1係長	石川 潔
主任	菊池 俊彦
技師	高橋 茂樹

	要 旨
1.開会	築川ダム建設事務所次長
	ただ今から第三回景観形成検討部会を開催させていただきます。開会にあたりまして、築川ダム建設事務所の菊池所長から挨拶申し上げます。
2.あいさつ	築川ダム建設事務所所長
	（略）
3.議事	第2回景観形成検討部会検討結果の確認... 資料1
安藤部会長	・ 早速ですが議事に入らせていただきます。本日の主な議題は4つでございます。時間は2時間を予定しております。早速ですが、第2回検討部会の検討結果の確認をしたいと思います。
事務局	・ それでは、第2回景観形成検討部会検討結果の確認について、資料1によって説明いたします。 （略）
安藤部会長	前回の結果のまとめを説明いただきました。よろしいでしょうか。では、ご確認していただいたということで次の議題に移りたいと思います。
	付替国道9号橋の景観検討について... 資料2
事務局	・ 付替国道9号橋の景観検討について、お手持ちの資料2と併せてご説明させていただきます。 （略）
安藤部会長	・ 主塔・橋脚のデザイン検討に入る前に模型をみていただいた方が良いと思いますので時間を少しいただきます。
小川委員	・ 先ほどの6案全部に共通してのことですが、主塔の上部が4.0m、下部の方で6.0mということは、橋脚が下の方に向かって広がっているということなのかどうか。また、これは基礎の部分まで広がっているのか。これらは水位が下がったときにどのように見えるのか教えていただきたい。
事務局	・ 現在の検討では、基部から上部まで同じ勾配でいくようになっている。
小川委員	・ 水位の動きはどの程度想定されるのか。
事務局	・ 水位が下がるごとにどんどん広がって見えていく。

小川委員	・ 経済性は考慮しないでよいか。
事務局	・ 施工性の面では影響があるが、デザイン面での経済性はほとんど差異がないとコメントさせていただいている。
鎌田委員	・ 一体タイプの2案のRが力学的に良さそうに見える。
事務局	・ 基本的には四角の形状が基本となるが、この角を丸く処理した。
鎌田委員	・ 構造的には問題ないか。
事務局	・ この程度のR処理であれば問題ない。
鷹觜委員	・ 白一色。年数が経つと汚れがつくと思われるが、どのタイプが汚れがつき難いか教えて欲しい。
事務局	・ 面的に広い部分よりも、角のある部分に汚れがついて全体的に強調されて見えるのではないか。スリットの入っているタイプが将来的には汚れが強調されて見えると思われる。
小川委員	・ 中間タイプ、分離タイプのディテールが好ましい。一体タイプの橋の下が広がっているものが構造的に安心感をもたせる。上から下まで同じ幅の柱になっていると、ケーブルがついた時に下の部分が細く見える感じにならないか。私は4案がいいと思うが。
安藤部会長	・ 全体を比較してみると一体タイプの方が安定感があるという意見がありました。
鎌田委員	・ 曲線のRがある方が目に優しい。視覚的にも刺激が少ない。2案のR処理がいいのかな。
小川委員	・ 下部のところは5号橋の関連で直線的な処理が良いと思う。スリットがあった方が協調性ができるのではないか。
安藤部会長	・ 近くの5号橋と共通性をもたせた方が良いというご意見でした。
鷹觜委員	・ 一体型がいいと思う。ただ、将来的にはスリットの汚れが目立つのではないか。主塔のスリットを無くしRを大きくしたらどうか。塔頂が外側に斜めにカットしたのがいい。
安藤部会長	・ これまでの意見を確認します。一体型がよい。下部工の方が強く見える。塔頂とピアのデザインが鉛直方向にしっかり収まっていれば安定してみえるのではないかというような意見が出されました。
鷹觜委員	・ スリットを無くす。2案のRを大きく。下の方は小川先生と同じ。
小川委員	・ 一体タイプ。主塔が一体的に下の方に広がっている。側面に対してはRを設けて、橋の下の方は直線的なスリットがある。柔らかさとシャープさを兼ね備えたデザインが良いと思います。
安藤部会長	・ 橋脚のスリットを入れるデザインは、どの案がいいのか。ストライプはどう入れたらいいか。
小川委員	・ 水切りというものは入っているか。水切りはRを強調させ、スリムにも見せる。
安藤部会長	・ 今の意見をまとめたいと思います。一体タイプ、2案に近い。ピアの部分に直線上にスリットを入れる。鉛直方向が強調され、安定感も増す。また、水切りを入れることで下の方が汚れない。しかも陰影もできてスリムに見えるなどのメリットが期待できるということです。
岸根委員	・ 5号橋と同じようにスリットが入っていた方がよい。塔頂部は大きく斜めにカットすれば雪処理、汚れ対策にも有効ではないか。
安藤部会長	・ この辺で事務局の方にも確認をしておきます。構造的な部分では問題ないか。きちんと実行に移せるかなどコメントをください。
事務局	・ 写真では5号橋にスリットが入っているように見えるが実際は入っていない。水切りの件は、Rを大きくすると一体的なものとして施工が難しい場合がある。
安藤委員長	・ そろそろ一体タイプに絞り込んでもいいか。また、面取り、R処理の方がよい。第二案の支持が多い。下部工のデザインも他の橋と同じよう

	<p>にという意見もありました。さらに、塔頂部は斜めにカットし雪処理に配慮、ピアの上部には水切りを入れていただきたい。というような方向になっております。</p>
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 柱の部分のRが強い。Rが面取りぐらいになってくるのではないか。6案のRで、下部工は面取りぐらいみえるがいいか。Rが面取りか、柱そのものがRかで印象が変わる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 汚れを少なくするには平滑面を多くすることが有効。スリットということではない。コンクリートが風化するので、その見せ方を考えることが重要となる。
安藤部会長	<p>小川さんの意見は直線的な部分が出てくるということか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 6案であれば同じ断面でやれる。2案では断面欠損があるので応力的な構造計算をやってみないとなんともいえない。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、しかるべきところに水切りをつけるということをお願いします。また、面取りの形態が柱全体に入れられるかは事務局で整理していただく。 ここで、決まったことを整理してみます。一体タイプの2案でいきたい。水切りを入れる。ピアのところにスリット(5案、6案のように鉛直に)を入れる。前面R処理か面取りRかは事務局で再検討。塔頂部は雪処理対策として斜めにカット。よろしければ前に進みます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルの定着部は、桁の上に配置したタイプと桁の下に配置したタイプの二つがあります。本橋においては、定着部を桁の上に配置することを提案しています。 9号橋は、盛岡市内から近い距離にあり、将来の水辺空間とシンボル橋の位置づけから、ケーブルの色彩、高欄・照明柱、の色彩等による演出は効果的であると思われます。 1案 統一化 2案 直線、照明柱、グレイの高欄、 3案 2案+ケーブル着色 を考えている。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 定着部のデザインにご意見を。ぼこぼこの波がでるのは仕方ないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 定着部の波、ぼこぼこの形状を隠すのは難しい。視覚的に工夫しながら今後の詳細設計に反映していきたい
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 色彩に関してご意見をどうぞ。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 照明柱は1案で決まっていたのでは。変える必要があるのかどうか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 2案、3案はコストアップするのか。
鷹嘴委員	<ul style="list-style-type: none"> 1案は橋のシャープさと合わない。茶色は重たい印象を与える。2案を基本的に考えてはどうか。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> 橋の部分だけか。前後のつながりはどうなるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 交差部分では照明が地上にでる。また、構造物部分に照明がつく。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 照明柱のデザインの統一が必要か。
鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> 茶色はかなり強い色。明るい感じが無い。白を強調したい。明るい色を使ってみたい。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 2案と3案に絞ってよいか。次にケーブルの色についてはどうか。
鷹嘴委員	<ul style="list-style-type: none"> シンボリックな位置づけをするか。大自然の中で人が造ったものは目立ってはいけない。極力目立たなくする。原色にする。2案の方がよい。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 2案のグレイ系を白に近い形で。照明柱は提案に近いもので橋梁に合ったものでいく。 <p>議事の にいきたいと思います。</p>

	付替国道の電力柱移設に係る景観検討について... 資料3
事務局	全線地下埋設に比べると3億の差がある。 国と協議したが大変難しい状況にある。前回提案した目立たなくする工夫の範囲で検討をお願いしたい。
安藤部会長	・ 全線の電柱地下埋設は難しいが、橋の周辺については可能性があるということで検討をお願いしたい。
事務局	・ 全線地下埋設は困難。9号橋の前後については最も重点をおく箇所。9号橋周辺に与える景観検討も足りないので、次回にはイメージパスなどをつくり検討いただきたい。その他の区間は周辺になじむ工夫をして電柱を立てることでご理解をいただきたい。植栽については効果が期待できるので検討を重ねていきたい。
安藤部会長	・ ご意見をどうぞ。
鎌田委員	・ 松尾インターを降り安比高原へ行く途中におもしろいユーモラスなデザインの電柱をみつけた。これをぜひ見てください。
小川委員	・ 電線にたるみがあるとだらしない印象がある。早池峰ダムの例3は統一性の面で問題。照明柱の色との全体で統一が必要ではないか。
安藤部会長	・ 照明柱は統一するとして、早池峰ダムの例2に近いようになるか。
鎌田委員	・ 黒に近い茶色ということであればいいと思う。
事務局	・ 色はいかようにでもできます。
安藤部会長	・ 照明柱の色にできるだけ近いということだけでいいか。
小川委員	・ 高欄と標識等は濃い茶色ということに進んでいる。前は自然なコンクリートでという話も出たが、全体で統一したもので考えた方が良くないか。
鷹觜委員	・ 植栽を入れる。
安藤部会長	・ 例2のように、茶系統で照明灯に近いもので。さらに植栽を入れていただくという方向で検討していただきたい。また、樹木などの選定は事務局に任せていただけるということでいいか。次回説明をいただく。
安藤部会長	・ トンネルと橋梁以外は電柱がでてくるということであるが。検討部会としては埋設が望ましいということを入れていただいてもよろしいですね？ただ、どうしてもという場合は検討するというので。
小川委員	・ やはり、電柱がでてくるのはいかなものか。
事務局	・ 9号橋のデザインは今回結論を出したい。その他の部分では、今後、電柱の事例を調べたりしながら、個々に相談させていただいていいか。
安藤部会長	・ 9号橋のデザインは今日で完了。 ・ その他、全体に関しては次回の委員会で検討していく。
事務局	・ その他、 ・ 今後の予定 ダム本体の検討、橋梁の高欄（茶系統）の設計が進み次第お示ししたい。八幡平の電柱についても調べてお示ししたい。

もどる